

MTHFR 遺伝子多型を持つ症例におけるクロレラの葉酸への影響について

Diagnostic Pathology: Open Access に掲載されました。

Diagn Pathol Open. 2018, 3:3 に掲載。

クロレラの食事性葉酸の生体への影響をMTHFR遺伝子多型症例に対して検討し、葉酸の利用効率が悪いTT型に有効であることを[第21回日本統合医療学会において発表](#)しましたが、その成果が論文になりましたのでご報告いたします。

[こちら](#)から無料でダウンロード

《詳細》

雑誌 : Diagn Pathol Open. 2018, 3:3

タイトル : A Case Study on the Influence of Chlorella pyrenoidosa on Subjects of MTHFR C677T Polymorphism.

著者 : Yoko Uchiyama-Tanaka, Masaki Fujishima, Eri Okumura

所属 : Yoko Clinic, Sun Chlorella Corp

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。